

内部評価項目表

松戸市立博物館

松戸市立博物館 内部評価項目表 ※網掛け＝「内部評価表」の「重点項目」

[illegible]

5つの 事業目標	方針	担当	具体的な取組	より詳細な取組	第1次中期期間(R5～R7)						第2次中期期間(R8～R10)						第3次中期期間(R11～R14)								第1次中期期間指標	
					R5 2023年		R6 2024年		R7 2025年		R8 2026年		R9 2027年		R10 2028年		R11 2029年		R12 2030年		R13 2031年		R14 2032年			
					(準備期間)	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値				
最新の研究成果を反映したりリニューアルを進めるとともに、より一層地域に根差した活動を展開し、「誰もが」「何度も」訪れたいくなる博物館を目指します。 ※中期期間ごとに右記の方針で取り組みを進めていきます。					展示技術の情報収集・開発を進めつつ、ヒアリングを通じて幅広い立場の方々の声を反映しながら、展示基本・実施設計を完了します。						リニューアル業務を確実に進めつつ、アウトリーチ活動にも注力することで博物館と地域とのつながりを開拓・維持し続けます。						新たな展示室・こどもミュージアムを最大限に活用しながら、多様なニーズに応えるプログラムを展開し、博物館サポーターの新規獲得を目指します。								判断	要件
新しいファン層の獲得 事業目標3	世代(1)子育て支援の博物館	学芸	①家族で楽しめるプログラム 家族で気軽に利用できるプログラムやイベントを常時開催します。	リニューアル後に実施する体験プログラムの開発	プログラムの検討		プログラムの検討・試行		プログラムの検討・試行		製作途中評価		ワークショップ開催		実装		運用開始		改善プランの検討		改善プランの実装		利用者調査	定性	プログラムの検討・試行(展示関連イベント・プレイルームイベントなど)および展示設計への反映。	
			②楽しみながら学ぶ松戸の歴史 常設展示の子ども向けワークシートで、歴史を学習していない子供にも、松戸の歴史を楽しみながら学べる機会を提供します。	こどもミュージアム用体験シートの開発	—		体験シートの検討		体験シートの検討		体験シートの試行		製作途中評価		実装		運用開始		改善プランの検討		改善プランの実装		利用者調査	定性	体験シートの内容検討および展示設計への反映。	
	①様々な団体への支援・協力 市内のさまざまな団体と連携して共催事業等を実施するだけでなく、活動を支援できるよう助言・協力します。		新規連携団体の開拓	—		—		3団体		6団体		6団体		6団体		6団体		6団体		6団体		6団体		6団体	定量	達成数:3団体
	②地域活動団体などとの連携 地域活動団体や町会・自治会の学習活動の取り組みをつなぎ、博物館を核とした連携が深まる仕組みを作ります。		地域活動団体などへの支援活動および情報交換(パートナー講座含む)の促進	—		6件		6件		15件		15件		15件		9件		9件		9件		9件		9件	定量	達成数:12件
	①各地域の歴史や文化を活かした小中学校との連携 松戸市内各地域の特徴ある歴史や文化を児童が学習できるよう、小中学校と連携したカリキュラム作りを進めます。また、出前授業などのアウトリーチ活動へ活かします。		博物館を活用したカリキュラム開発	—		博学連携展の改良		カリキュラムの検討・作成		出前講座		出前講座		出前講座		新展示室・こどもMを活用したカリキュラムの検討		新展示室・こどもMを活用したカリキュラムの検討・作成		新展示室・こどもMを活用したカリキュラムの試行		新展示室・こどもMを活用したカリキュラムの試行		新展示室・こどもMを活用したカリキュラムの試行	定性	リニューアル期間中のアウトリーチ活動を視野に、カリキュラムを検討・作成。
	②児童学部との連携 聖徳大学教育学部児童学科との連携を進め、それぞれの学習課題を習得し、館内外の事業に反映させます。		児童学の視点を活かしたこどもミュージアムの運用	—		—		—		—		—		イベント共催		新体験プログラムの共同開発①		新体験プログラムの共同開発②		実装		実装		実装	定性	— (リニューアルオープン後の連携事業を予定)
			③市内高校・大学との連携 小中学校だけでなく、高校・大学との連携によりこれまで進めてきた博学連携プログラムを強化します。	・高校生向けキャリア教育プログラムの開発。 ・大学生向けプログラム(実習、団体見学など)の充実。	—		・ニーズ調査 ・インターン受入		・ニーズ調査 ・インターン受入		ワークショップ実施①		改善プランの検討①		ワークショップ実施②		改善プランの検討②		・インターン受入 ・ワークショップ実施③		・インターン受入 ・改善プランの検討③		・インターン受入 ・ワークショップ実施④	定性	聞き取りやインターンの受け入れにより市内高校および近隣大学の教員・生徒のニーズを把握。	
新たな展示空間の創設 事業目標4	(1)こどもミュージアムの整備	学芸	① 5つの柱に基づき、こどもミュージアムを整備 (1) 博物館と最初に出会う場所 (2) 家族で一緒に楽しめる体験プログラムの提案 (3) こどもたちの自主性を重視する歴史体験 (4) 公園にある博物館の特性を活かした活動 (5) 人々の交流が生まれる広場	こどもミュージアムの整備	企画展こどもミュージアム報告書作成		展示計画策定(常設・こどもM)		展示基本設計実施設計(常設・こどもM)		・試行 ・制作途中評価		コンテンツ制作		施工		設置後総括評価		改善プランの検討		改善プランの実装		利用者調査	定性	展示基本・実施設計の完了。	
			② 4つの展示部門での構成 「こどもミュージアム」は、「やってみよう」「たんけんしてみよう」「しらべてみよう」「みんなで作ろう」の4つで構成され、各展示部門には松戸の歴史や文化にアプローチする多彩なプログラムを用意して、常に新たな歴史体験ができます。 この4つの展示部門は連関性を持ち、こどもたちが自らの興味に応じて自発的で主体的な学びを深められるプログラムの開発を目指します。																							
			(2)新しい発見や学びのための可変的な展示	①可変性のある展示空間 常設展示を見直し、現在の主題展示室を改変し、新たに可変性をもつ展示空間を創設します。新しく収蔵した資料の即時的な公開、研究成果をもとにした新しい情報の発信、特定の展覧会テーマに合わせた収蔵資料等の紹介などの展示を展開します。 ②調査・研究成果をスピーディに披露する展示空間 総合展示室内にも可変性をもつ展示ケース等を増設し、通史展示における各時代の新たな研究成果の発信や、関連する収蔵資料を公開し、また、定期的な入れ替えなどを行ないます。 ③松戸市立博物館でしか味わえない展示空間 ・展示室の照明を明るくし、展示資料や模型をよく観察できるようにします。 ・車いす利用者が見やすいように、展示台ケースの形状を工夫します。 ・展示資料や模型について、詳しい情報・解説やイラスト・写真等を用いたわかりやすい説明を付け加えます。展示室内でQRコード等を用いた情報発信を行ない、見学者の興味・関心に応じて学びを深められるような工夫を凝らします。	・常設展示のリニューアルにともなう多目的展示室の新設と活用。 ・研究成果を即時発表するための什器選定とリニューアル後の活用。 ・インクルーシブの視点を踏まえた展示空間の創出。	—		・展示計画策定(常設・こどもM) ・インクルーシブ関係のヒアリング		展示基本設計実施設計(常設・こどもM)		・試行 ・制作途中評価		・試行 ・制作途中評価		施工		・設置後総括評価 ・ミニ展示3件 ・新資料紹介6件		・改善プランの検討 ・ミニ展示3件 ・新資料紹介6件		・改善プランの実装 ・ミニ展示3件 ・新資料紹介6件		・利用者調査 ・ミニ展示3件 ・新資料紹介6件	定性	諸団体へのヒアリングを踏まながら展示基本・実施設計を完了する。
	(3)二丁スペースに対応																									

5つの 事業目標	方針	担当	具体的な取組	より詳細な取組	第1次中期期間(R5～R7)						第2次中期期間(R8～R10)						第3次中期期間(R11～R14)								第1次中期期間指標		
					R5 2023年		R6 2024年		R7 2025年		R8 2026年		R9 2027年		R10 2028年		R11 2029年		R12 2030年		R13 2031年		R14 2032年				
					(準備期間)	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値	単年度指標	実績値			
最新の研究成果を反映したりリニューアルを進めるとともに、より一層地域に根差した活動を展開し、「誰もが」「何度も」訪れたくなる博物館を目指します。 ※中期期間ごとに右記の方針で取り組みを進めていきます。					展示技術の情報収集・開発を進めつつ、ヒアリングを通じて幅広い立場の方々の声を反映しながら、展示基本・実施設計を完了します。						リニューアル業務を確実に進めつつ、アウトリーチ活動にも注力することで博物館と地域とのつながりを開拓・維持し続けます。						新たな展示室・こどもミュージアムを最大限に活用しながら、多様なニーズに応えるプログラムを展開し、博物館サポーターの新規獲得を目指します。								判断	要件	
施設 業の長 寿5命 化	(1)インクルーシブ デザインの導入	学芸 本課	①快適に過ごせる施設の整備 性・国籍・年齢・障害の有無などに係わらず、誰もが がストレスなく立ち寄り、展示を観覧し、事業に参加 できる空間を構成します。	インクルーシブデザインの 導入 (案内の多言語化、音声 ガイドの導入、パンフ レットなどの点字翻訳、 休憩コーナーの検討・導 入など)	—																					定性	各種関係団体へのヒアリン グを適切に展示基本・実施 設計へ反映。
			ハード・ソフト両面にわ たる「合理的配慮」提供 体制の確立	—																							定性
	(2)施設の老朽化対策の推 進	学芸	①老朽化施設の改修 博物館は開館後28年以上経過し、年数とともに 建物の老朽化が進行しており、安全面、機能面で 様々な不具合が発生しています。今後、施設老朽 化の進行状況に応じて、建築、電気、給排水、空調 設備などの修繕工事を行います。また、地震、水 害などの災害時に備えた建物の機能強化を図り ます。	吊り天井改修 設備の更新 照明器具更新 企画展示室改修	空気調和 設備改修 工事に伴 う設計業 務委託											—		—		—		—		定性	施設改修による安全面・機 能面の向上。		
			②館蔵資料の適切な管理 国の重要文化財など貴重な歴史資料を保管して いる重要な機能を担う収蔵庫の適正な保管環境 の整備を図ります。	持続的な資料保存環境 の整備(温湿度モニタリ ング、IPM、災害対策、 収蔵空間の増強等)。	温湿度モ ニタリ ング環 境の整 備																					定性	温湿度モニタリング環境の 整備と空調工事の開始。
	(3)アクセ スの改善	庶務 本課	①駐車場の効率的な活用 利用者の利便性向上のため、21世紀の森と広場 駐車場の有効活用など駐車場環境の整備を図っ ていきます。	駐車場から博物館への 誘導を効率的に行い、 駐車場をPRの場とす る。	—																					定性	リニューアル後のアクセス強 化に向けた調査・検討。
			②スムーズなアクセス 主要駅(八柱駅、新八柱駅、新松戸駅)から博物館 までの適切な誘導の看板や案内板の充実を図り ます。	博物館周辺案内の充実	—																						定性

令和6年度内部評価詳細

松戸市立博物館

事業目標 1 松戸ブランドの価値創出

これまで蓄積してきた研究成果や貴重な文化財など松戸市立博物館の価値を強力にアピールし、博物館の認知度アップを目指します。

令和6年度目標

事業目標毎、単年度の目標を記載

重点項目① 目標を達成できた展覧会の数

方針(1):所蔵文化財の価値の発信 - 具体的な取り組み①

取組	内部評価項目表の「より詳細な取り組み」を記載
単年度指標	内部評価項目表の「指標」を記載
取組状況	より詳細な取り組みにかかる事業の取組（実施）状況を記載
成果・課題	成果・課題を整理し記載
評価コメント	成果・課題から、目標に対し事業が進んでいるか評価する。

重点項目② ○○○

方針(1):- 具体的な取り組み① より詳細な取り組み (a)	
取組	
単年度指標	
取組状況	
成果・課題	
評価コメント	

事業目標2 広域的な文化交流拠点の形成

松戸市立博物館は、千駄堀エリアの文化環境や自然環境を生かし、周辺施設との連携を強化し市民のための文化交流拠点をつくりあげます。

令和6年度目標

重点項目① ○○○○

方針(1): - 具体的な取り組み①

より詳細な取り組み

取組	
単年度指標	
取組状況	
成果・課題	
評価コメント	

重点項目② ○○○○

方針(1): - 具体的な取り組み① より詳細な取り組み	
取 組	
単年度指標	
取 組 状 況	
成 果 ・ 課 題	
評価コメント	

事業目標3 新しいファン層の獲得

松戸市立博物館は、家族で楽しめて集える博物館をめざし、新規利用者の開拓に努め、共に博物館を盛り上げていく仲間づくりを推し進めます。

令和6年度目標

計画に掲げた3つの使命を達成すべく定めた目標を達すべく毎年度毎目標を設定する。

重点項目① ○○○

方針(1):- 具体的な取り組み①

より詳細な取り組み (a)

取組	
単年度指標	
取組状況	
成果・課題	
評価コメント	

重点項目② ○○○

方針(1):- 具体的な取り組み① より詳細な取り組み (a)	
取組	
単年度指標	
取組状況	
成果・課題	
評価コメント	

事業目標4 新たな展示空間の創設

こどもも大人も楽しく、松戸の歴史と文化を学ぶことができる「こどもミュージアム(旧こども歴史博物館)」を整備します。また、常設展示全体の充実も図ります。

令和6年度目標

計画に掲げた3つの使命を達成すべく定めた目標を達するべく毎年度毎目標を設定する。

重点項目① ○○○

方針(1): 具体的な取り組み①

より詳細な取り組み (a)

取組	
単年度指標	
取組状況	
成果・課題	
評価コメント	

重点項目② ○○○

方針(1)： 具体的な取り組み① より詳細な取り組み (a)	
取 組	
単年度指標	
取 組 状 況	
成 果 ・ 課 題	
評価コメント	

事業目標5 施設の長寿命化

多様な利用者に対応できるよう施設の充実を図るとともに、今後も持続可能な博物館活動を展開できるよう施設・設備の長寿命化を図ります。

令和6年度目標

計画に掲げた3つの使命を達成すべく定めた目標を達すべく毎年度毎目標を設定する。

重点項目① ○○○

方針(1): - 具体的な取り組み①

より詳細な取り組み (a)

取組	
単年度指標	
取組状況	
成果・課題	
評価コメント	

重点項目② ○○○

方針(1): - 具体的な取り組み① より詳細な取り組み (a)	
取 組	
単年度指標	
取 組 状 況	
成 果 ・ 課 題	
評価コメント	

評 価 日: _____

評価者氏名: _____

外部評価シート

事業目標-1 広報戦略 松戸ブランドの価値創出

これまで蓄積してきた研究結果や貴重な文化財など、松戸市立博物館の価値を強力にアピールし、博物館の認知度アップを目指します。

評価	評価コメント

事業目標-2 エリア戦略 広域的な文化交流拠点の形成

松戸市立博物館は、千駄堀エリアの文化環境や自然環境を生かし、周辺施設との連携を強化し、市民のための文化交流拠点をつくりあげます。

評価	評価コメント

事業目標-3 ターゲット戦略 新しいファン層の獲得

松戸市立博物館は、家族で楽しめて集える博物館をめざし、新規利用者の開拓に努め、共に博物館を盛りあげていく仲間づくりを推し進めます。

評価	評価コメント

事業目標-4 展示戦略 新たな展示空間の創設	
こどもも大人も松戸の歴史と文化を楽しく学ぶことができる「こどもミュージアム」を整備します。また、常設展示全体の充実を図ります。	
評価	評価コメント

事業目標-5 施設戦略 施設の長寿命化	
多様な利用者に対応できるよう施設の充実を図るとともに、今後も持続可能な博物館活動を展開できるよう施設・設備の長寿命化を図ります。	
評価	評価コメント

評価基準 事業目標の達成に向けて

- A・・・所期の目標を上回っている。
- B・・・所期の目標を達成している。
- C・・・所期の目標を下回っており、改善を要する。